

# 令和5年度

## 県立日野高等学校寄宿舎2屋上防水改修工事

図番	図面名称	縮尺
A-01	改修工事特記仕様書(1)	—
A-02	改修工事特記仕様書(2)	—
A-03	外部仕上表	—
A-04	敷地案内図、配置図、工事概要	1/150
A-05	【改修図】各屋根伏図	1/100
A-06	屋根防水面積求積図	1/100
A-07	立面図	1/100
A-08	断面図(参考)	1/100
A-09	部分詳細図	図示



A-00	県立日野高等学校寄宿舎2屋上防水改修工事		A2 NON
	図面リスト		A3 縮小率70.7%
株式会社e-MOMENT		管理建築士 1級建築士登録第354253号 山田 大生	



3

防水改修工事

3 既存下地の処理 [3.2.6]

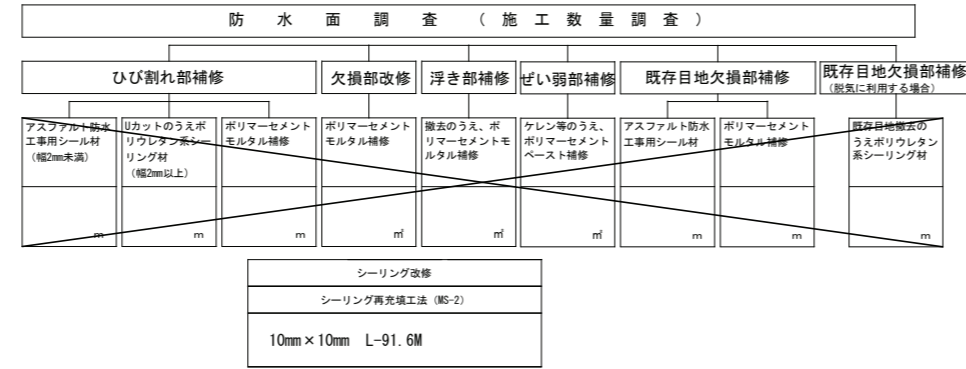
補修箇所の形状、長さ、数量等( )事前調査による  
 POS工法及びPOS1工法(機械的固定工法)の既存保護層を撤去し、防水層を非撤去とした立上り部等の処理  
 ※改修標準仕様書3.2.6(4)(f)(g)①~③による  
 ※改修標準仕様書3.2.6(4)(f)(g)①~③による  
 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり、丸環の取付部、増屋出入口部、防水層末端部の納まり部の処理  
 ※図示による。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する。

5 改質アスファルトシート [3.4.2.3] [表3.4.1~3]

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料		高日射反 射率防水 の適用 G	備考
				種類	使用量		
・MAS	・AS-T1						※製造所の仕様
	・AS-T2						
・MSAS	・AS-T3						脱気装置 ・設ける
	・AS-T4						
・POAS	・AS-J1						脱気装置 ・設けない 改修用トレン ・設ける ・設けない
	・AS-J3						
・MOASI	・ASI-T1		JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材				脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用トレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない
・MAASI	・ASI-J1						
・POASI			種類 ※ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号又は2号 厚さ ※35mm ・50mm				

改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
 ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による  
 脱気装置の種類  
 ※改質アスファルトシートの製造所の指定  
 脱気装置の設置数量  
 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 3 個  
 押え金物  
 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

防水改修フロー及び数量  
・既存保護層の補修及び処置



7 塗膜防水 [3.6.2.3] [表3.6.1~3]

工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反 射率 防水の適用 G	備考
			種類	使用量		
・POX	※X-1			※主材料の 製造所の仕様		脱気装置 ・設ける 改修用トレン ・設ける ・設けない
	・X-2					
・L4X	・X-1			※主材料の 製造所の仕様		脱気装置 ・設ける ・設けない
	※X-2					
・P1Y	・X-1H					保護層 ・設ける ・設けない
	・X-2H					
・P2Y	※Y-2					保護層 ・設ける ・設けない

X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類 ※ 主材料の製造所の仕様  
 X-1 (絶縁工法) の脱気装置の設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 1 個

8 シーリング [3.7.2~8] [表3.7.1]

シーリング改修工法の種類 [表3.1.2]  
 ・シーリング充てん工法  
 ・シーリング再充てん工法  
 ・拡幅シーリング再充てん工法  
 ・ブリッジ工法  
 ボンドブレード張り ・適用する ・適用しない  
 エッジング材張り ・適用する ・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所  
 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.11による。

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
防水端部押え金物	MS-2
トップライトアルミ笠木取合い	MS-2
仕上げを行わない施工箇所	図示による ・打線目地

シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(a)(1)~(3)による  
 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・引張接着性試験

11 アルミニウム製笠木 [3.9.2.3]

種類 ・オープン形式(・押出250形 ・押出300形 ・押出350形)  
 ・板材折曲げ形(・オープン形式 ・シール形式)  
 本体幅 ( ) mm 板厚 (※2.0mm ・ mm)

表面処理 種類 ( ) 種 皮膜等の種類 (※改修標準仕様書表5.2.2による)  
 着色(・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)

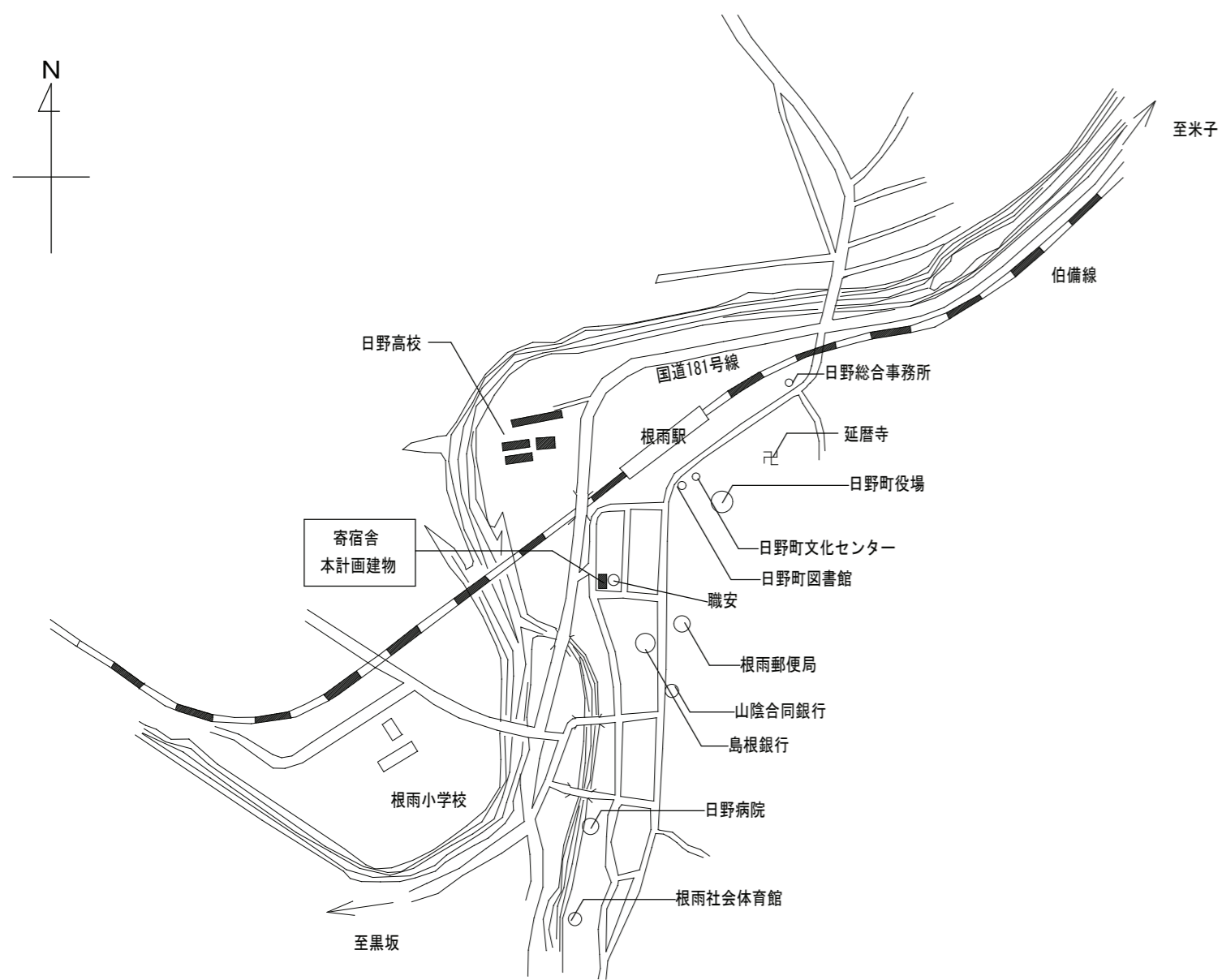
既存笠木等の撤去 ・行う(範囲 図示 )  
 ・行わない

下地補修の工法 ※図示  
 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示  
 笠木の固定金具の工法等  
 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

外部仕上表			
	【改修前】	【改修後】	【備考】
屋根	モルタル金こて押え下地 → 既存のまま	下地面水洗い（デッキブラシ）の上改質アスファルトシート防水（M3AS1工法 断熱材 t=35） 新設脱気筒 新設	縦樋飾り桟 → 既存のまま
	シート防水 厚1.2（断熱工法） → 撤去 仮設防水（ポリマーセメント系仮防水材）施工	※断熱材：JIS A 9521（建築用断熱材）硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 1号	縦樋φ75（支持金物 共） → 既存のまま
	コーナー横付型ドレンφ75 ステンレス製 → 撤去	改修ドレンφ70用 新設	
外壁	コンクリート打放しの上複層塗材RS → 既存のまま		トップライトバラベット天端：塗膜防水（X-2工法）新設 ※アゴ下水切り用テープ新設
			アルミ笠木 → 取外し・再取付け
バルコニー	モルタル金こて押え下地：既存のまま シート防水 厚1.2（軽歩行M-3工法） → 既存のまま		EXP-J アルミ金物 → 屋根取合いのみ取外し・再取付け（シート防水改修部分）
	硬質ゴム床材 厚15 → 既存のまま		アルミ手摺 → 既存のまま
寄宿舎 1 取合屋根	モルタル金こて押え下地 → 既存のまま	下地面水洗い（デッキブラシ）の上改質アスファルトシート防水（M3AS1工法 断熱材 t=35） 新設脱気筒 新設	ステンレスタラップφ22 幅400 → 既存のまま
	シート防水 厚1.2（断熱工法） → 撤去 仮設防水（ポリマーセメント系仮防水材）施工	※断熱材：JIS A 9521（建築用断熱材）硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 1号	丸型フードφ75（アルミ製） → 既存のまま
	コーナー横付型ドレンφ75 ステンレス製 → 撤去	改修ドレンφ70用 新設	丸型レジスターφ75（樹脂製） → 既存のまま
基礎立上り	コンクリート打放し → 既存のまま		
外部階段	壁面 コンクリート打放しの上複層塗材RS → 既存のまま		
	床面 防水モルタル金こて押え → 既存のまま		



A-03	県立日野高等学校寄宿舎 2 屋上防水改修工事		A2 NON
	外部仕上表		
株式会社e-MOMENT		管理建築士 1級建築士登録第354253号 山田 大生	A3 縮小率70.7%



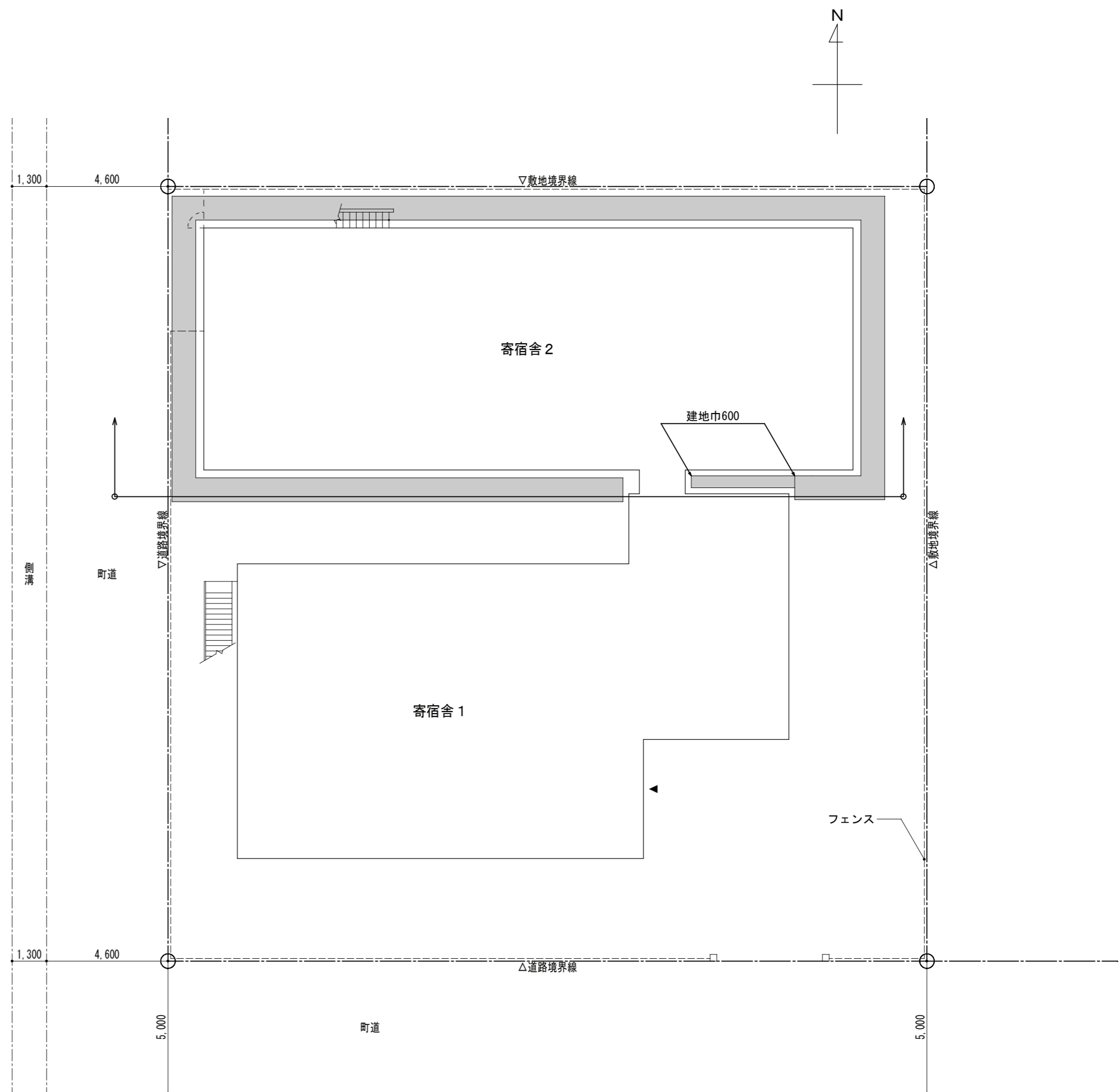
敷地案内図

工事概要

- ・防水改修シート防水（断熱工法）既存撤去 → 改質アスファルトシート防水（M3ASI工法）新設 約 242.8㎡
- ・トップライトパラペット：塗膜防水（X-2工法）新設 約 3.4㎡

コメント

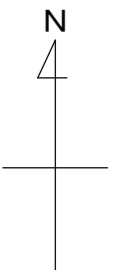
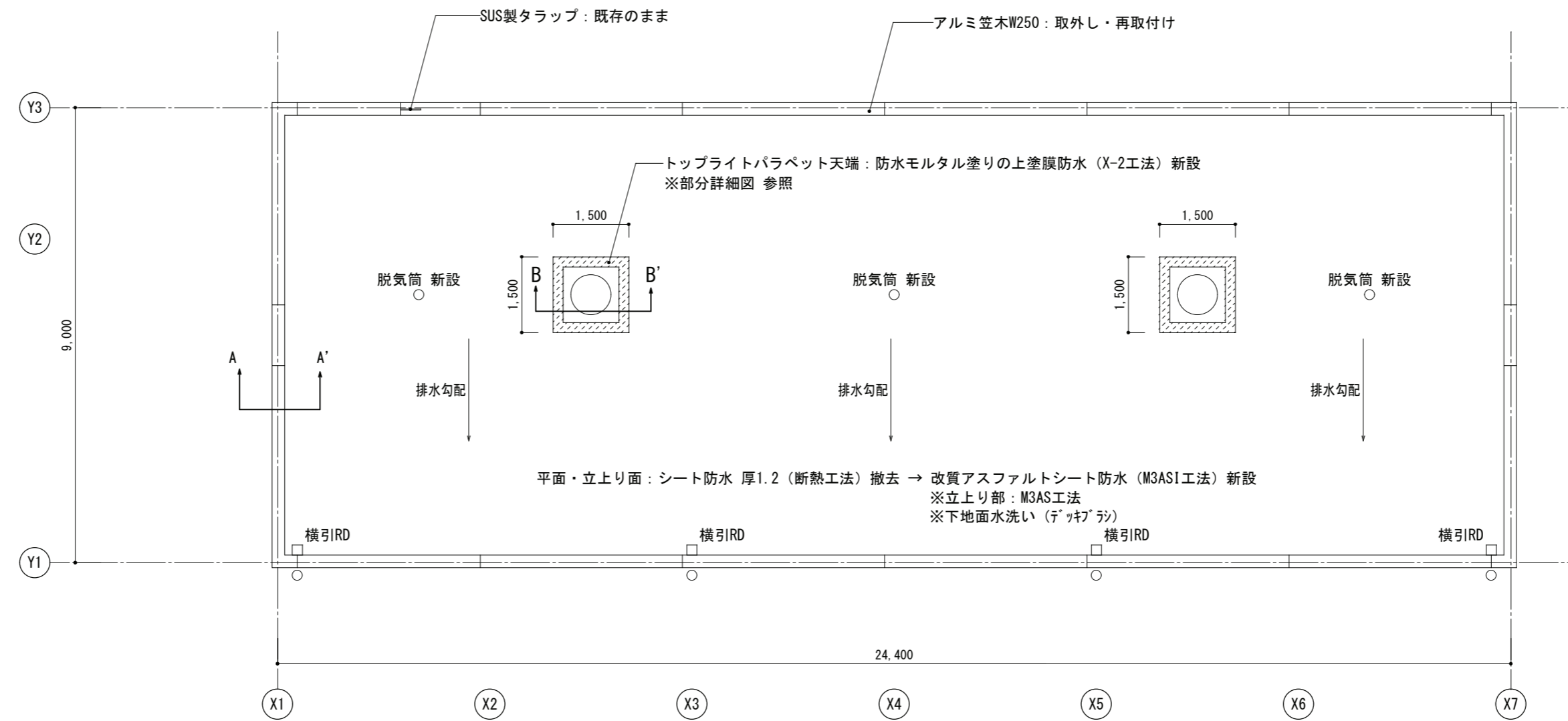
- ・交通誘導員 計 2人工
- ：枠組本足場手すり先行方式、建地巾900 ※記載なき限り防音シート張り、安全手すり設置範囲を示す。（参考）



配置図 S=1/150



A-04	県立日野高等学校寄宿舎2 屋上防水改修工事	山田 大生	A2 S=1:150
	敷地案内図、配置図、工事概要		A3 縮小率70.7%
株式会社e-MOMENT		管理建築士 1級建築士登録第354253号	



**屋上屋根**

平部: シート防水 厚1.2 (断熱工法) 撤去 → 改質アスファルトシート防水 (M3AS1工法) 新設  
 ※平部シート防水撤去後 仮設防水 (ポリマーセメント系仮防水材) 施工

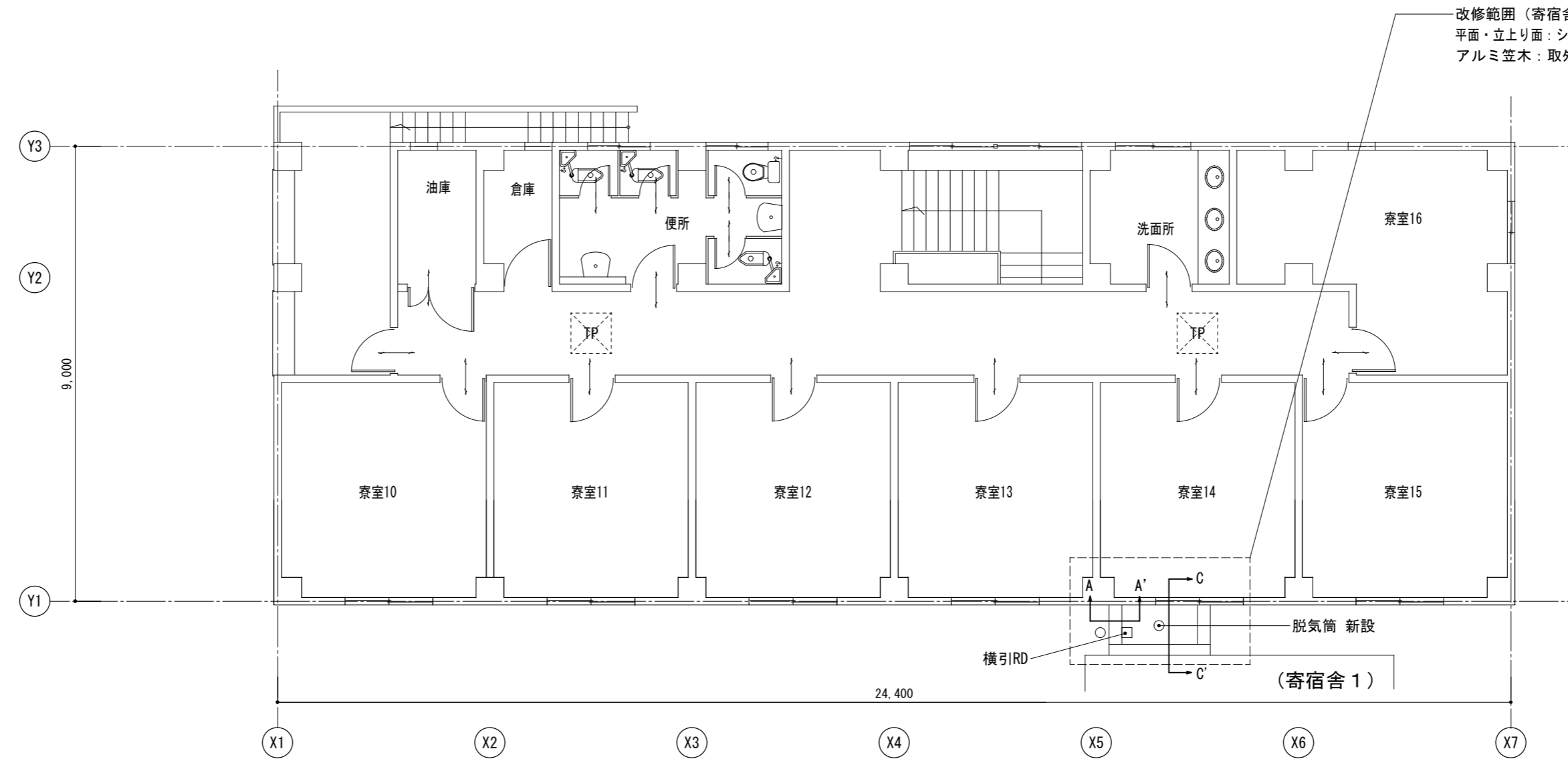
立上り: シート防水 厚1.2 撤去 → 改質アスファルトシート防水 (M3AS1工法) 新設

トップライトパラペット: 防水モルタル部分 塗膜防水 (X-2工法) 新設

横引RD: 既存ストレーナー 撤去 → 改修ドレンφ70 新設

アルミ笠木: 既存取外し → 再取付け

屋上 屋根伏図 S=1/100



**寄宿舎1 取合屋根**

平部: シート防水 厚1.2 (断熱工法) 撤去 → 改質アスファルトシート防水 (M3AS1工法) 新設  
 ※平部シート防水撤去後 仮設防水 (ポリマーセメント系仮防水材) 施工

立上り: シート防水 厚1.2 撤去 → 改質アスファルトシート防水 (M3AS1工法) 新設

横引RD: 既存ストレーナー 撤去 → 改修ドレンφ70 新設

アルミ笠木: 既存取外し → 再取付け

寄宿舎1 取合 屋根伏図 S=1/100

特記事項 (記載無き限り)

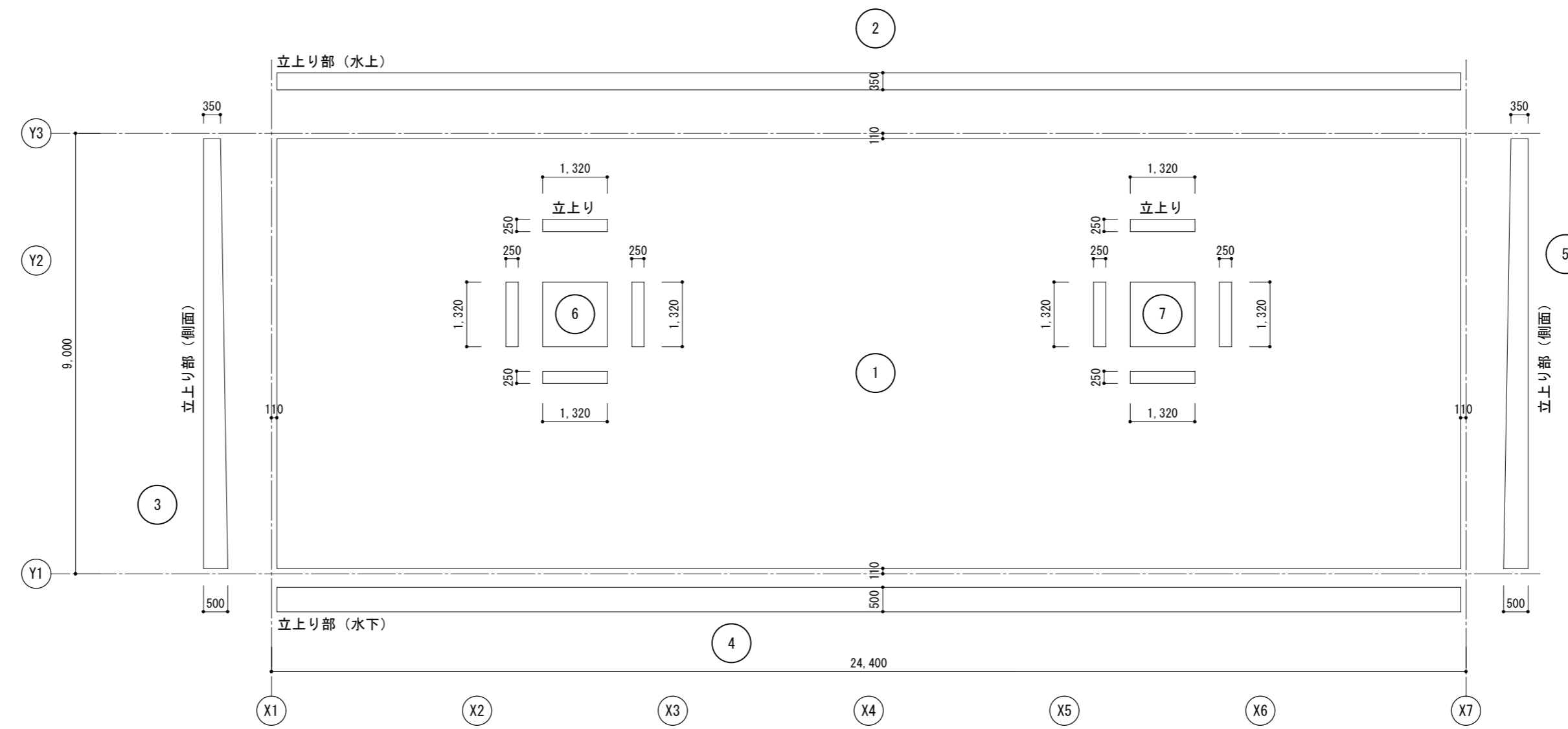
防水改修については、施工に先立ち事前調査 (目視・打診等) を行い、計測図面、写真等の報告書及び施工計画書を作成し、監督員と協議を行い、施工面積・数量・工法を決定する事。

A-05	県立日野高等学校寄宿舎2 屋上防水改修工事		A2 S=1:100
	【改修図】各屋根伏図		A3 縮小率70.7%
株式会社e-MOMENT		管理建築士 1級建築士登録第354253号 山田 大生	



平部		
①	24.18*8.78	212.3004 m <sup>2</sup>
⑥	1.32*1.32	▲ 1.7424 m <sup>2</sup>
⑦	1.32*1.32	▲ 1.7424 m <sup>2</sup>
合計		208.82 m <sup>2</sup>

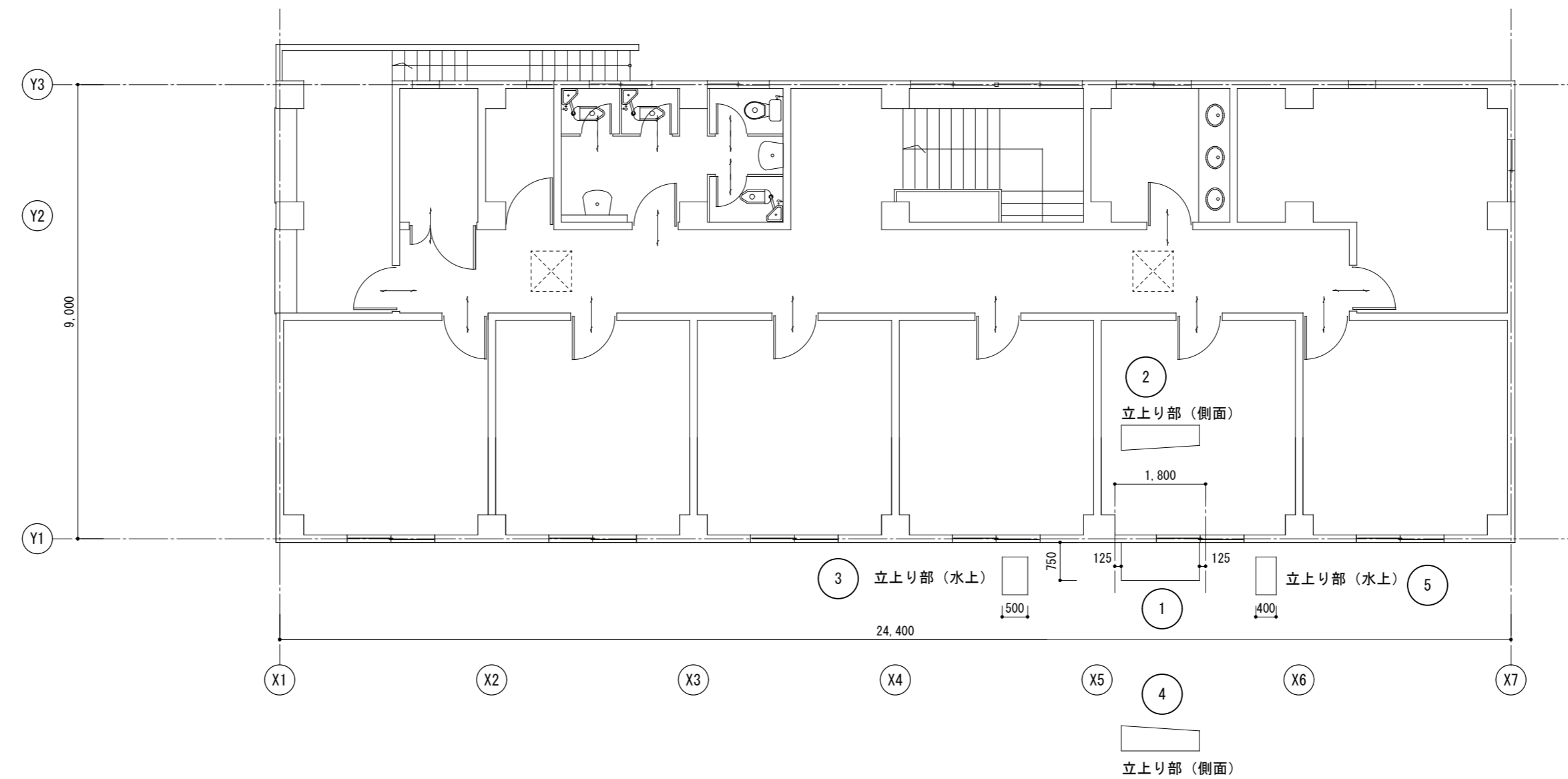
立上り		
②	24.18*0.35	8.463 m <sup>2</sup>
③	(0.35+0.5) *8.78÷2	3.7315 m <sup>2</sup>
④	24.18*0.5	12.09 m <sup>2</sup>
⑤	(0.35+0.5) *8.78÷2	3.7315 m <sup>2</sup>
⑥	1.32*0.25*4	1.32 m <sup>2</sup>
⑦	1.32*0.25*4	1.32 m <sup>2</sup>
合計		30.66 m <sup>2</sup>



屋上屋根 求積図 S=1/100

平部		
①	1.55*0.75	1.16 m <sup>2</sup>
合計		1.16 m <sup>2</sup>

立上り		
②	(0.4+0.5) *1.55÷2	0.6975 m <sup>2</sup>
③	0.75*0.5	0.375 m <sup>2</sup>
④	(0.4+0.5) *1.55÷2	0.6975 m <sup>2</sup>
⑤	0.75*0.4	0.3 m <sup>2</sup>
合計		2.07 m <sup>2</sup>



寄宿舎1 取合屋根 求積図 S=1/100

特記事項 (記載無き限り)

防水改修については、施工に先立ち事前調査 (目視・打診等) を行い、計測図面、写真等の報告書及び施工計画書を作成し、監督員と協議を行い、施工面積・数量・工法を決定する事。

A-06

県立日野高等学校寄宿舎2 屋上防水改修工事

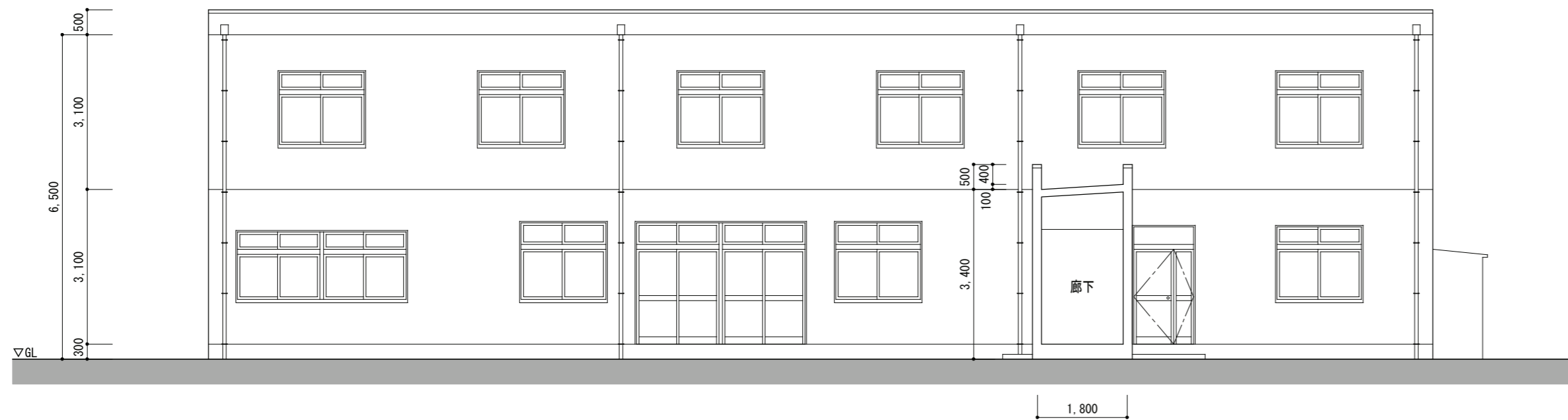
屋根 防水面積 求積図

株式会社e-MOMENT

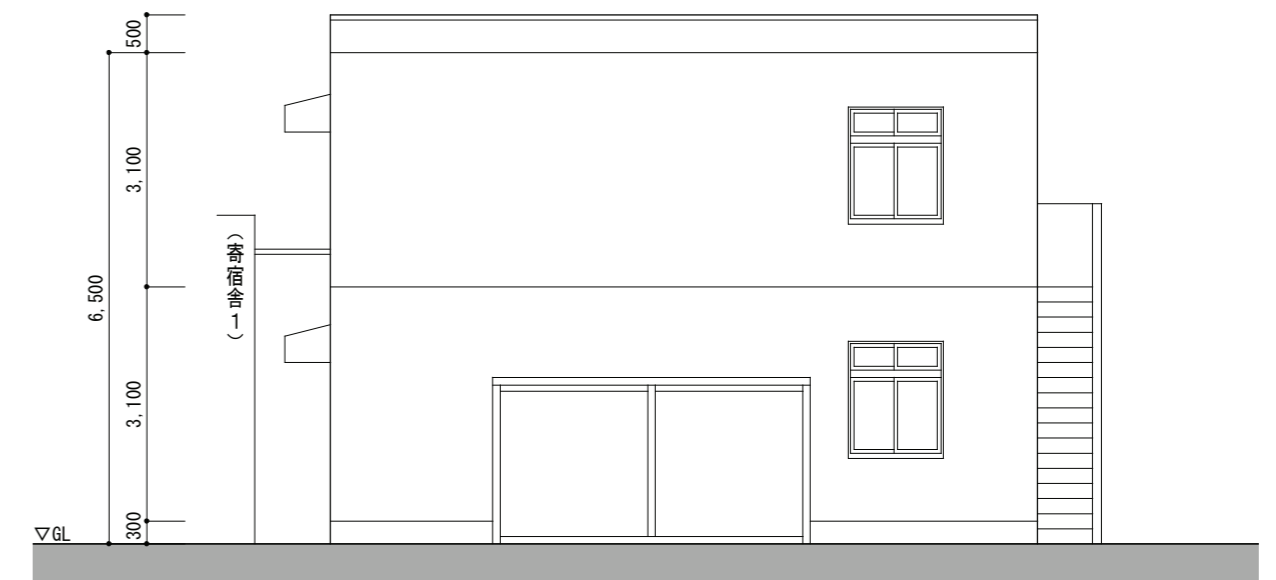
管理建築士 1級建築士登録第354253号  
山田 大生



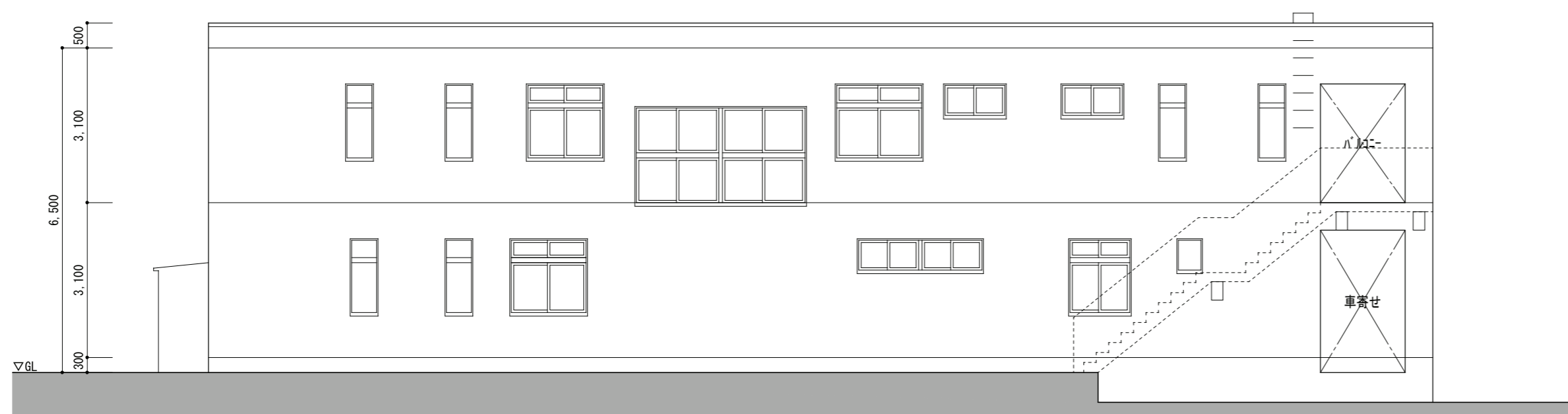
A2 S=1:100  
A3 縮小率70.7%



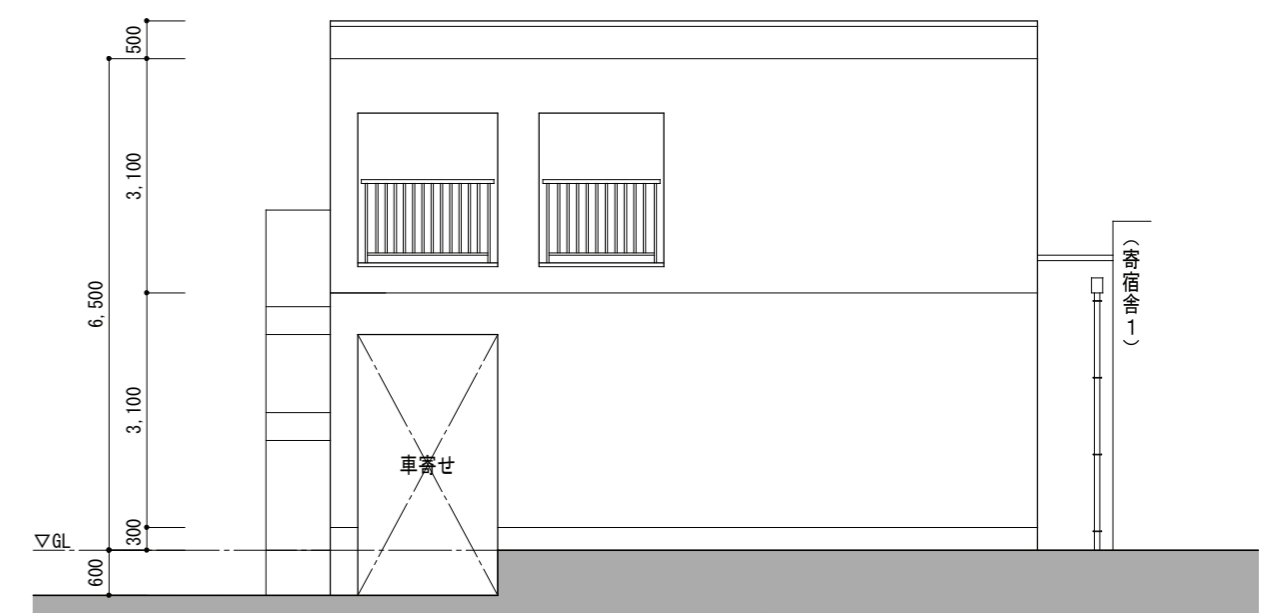
南側 立面図 S=1/100



東側 立面図 S=1/100



北側 立面図 S=1/100

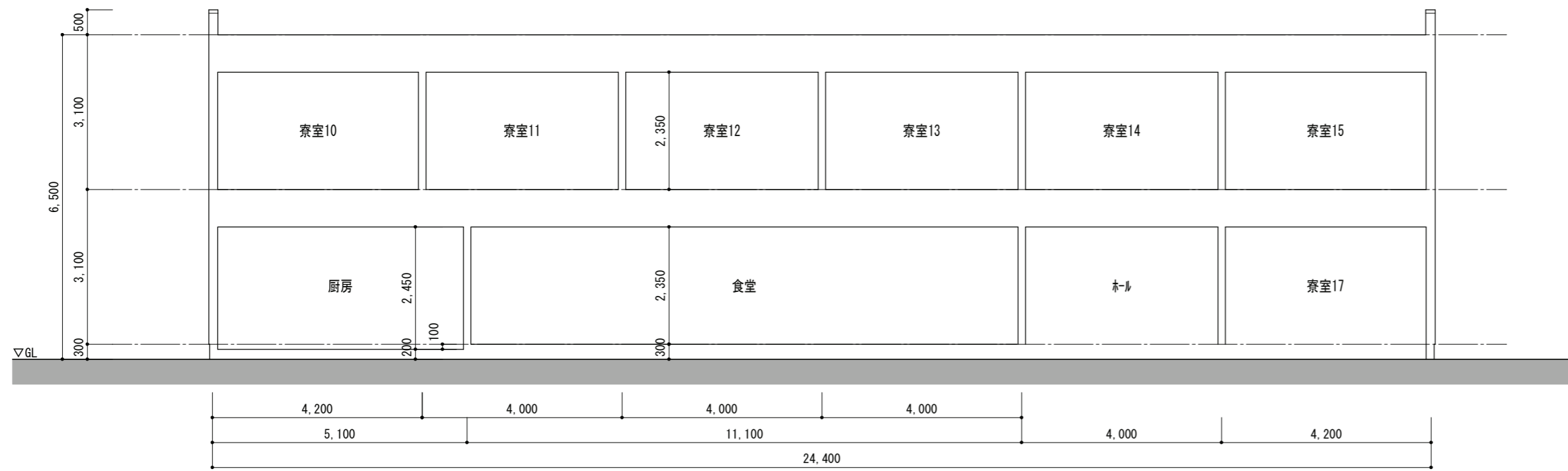


西側 立面図 S=1/100

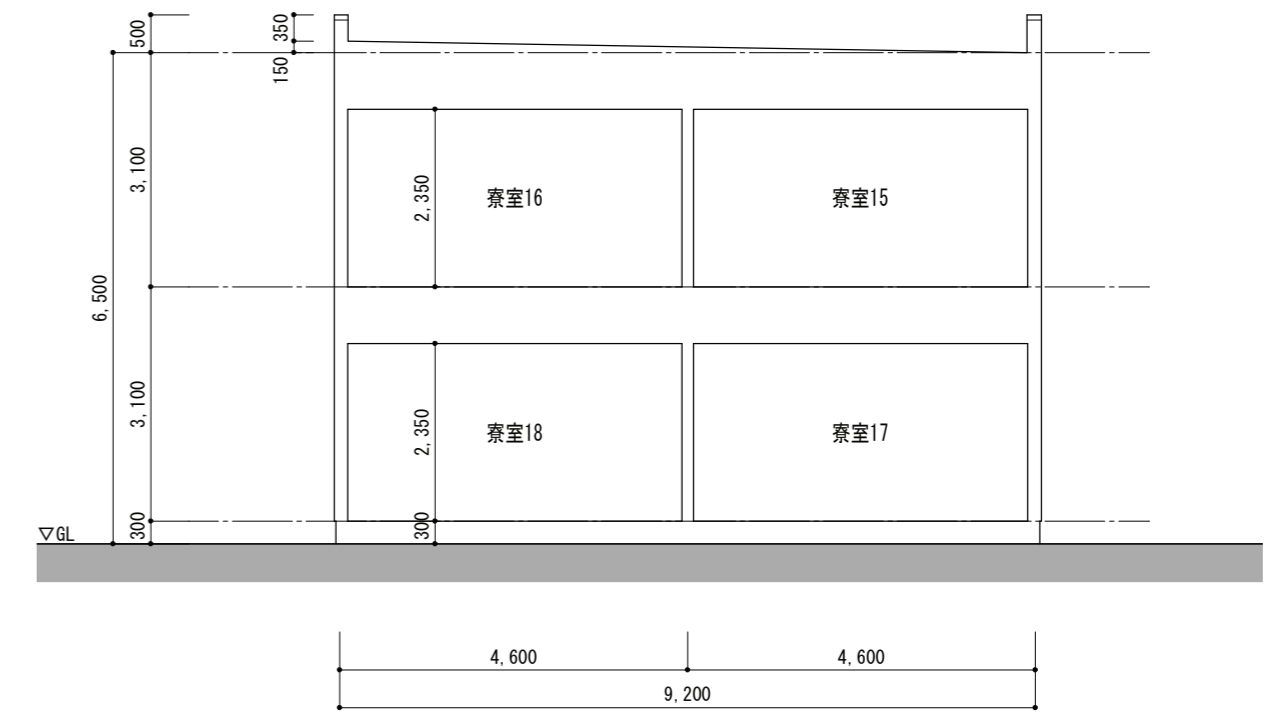


A-07	県立日野高等学校寄宿舍2屋上防水改修工事	山田 大生	A2 S=1:100
	立面図		A3 縮小率70.7%
株式会社e-MOMENT		管理建築士 1級建築士登録第354253号	

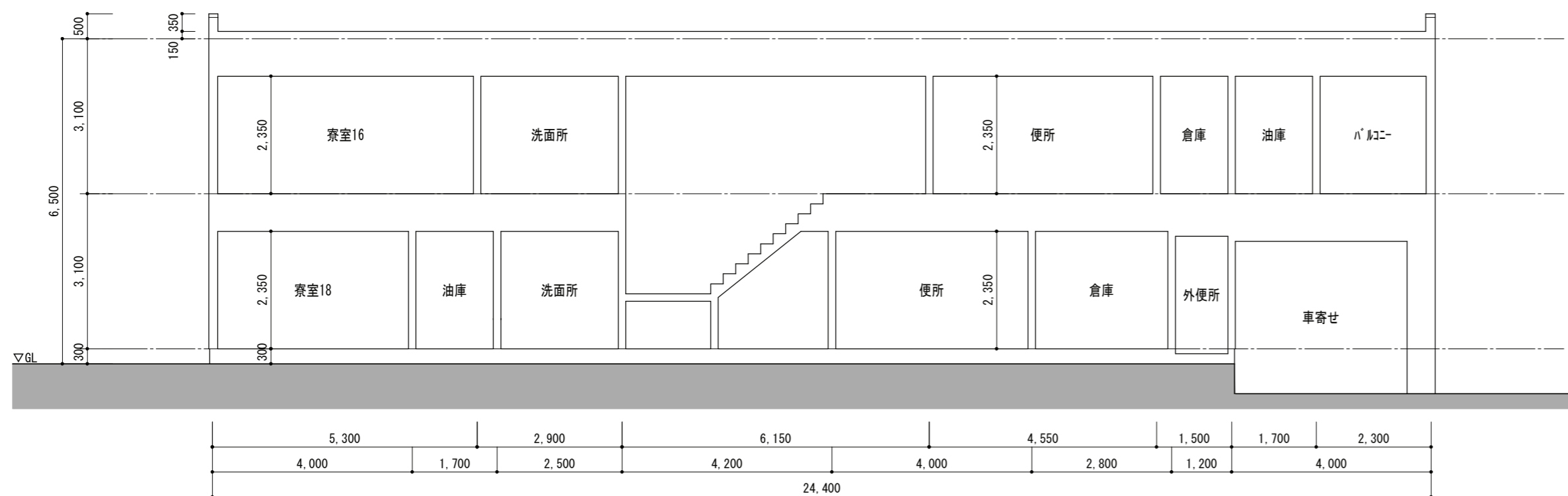




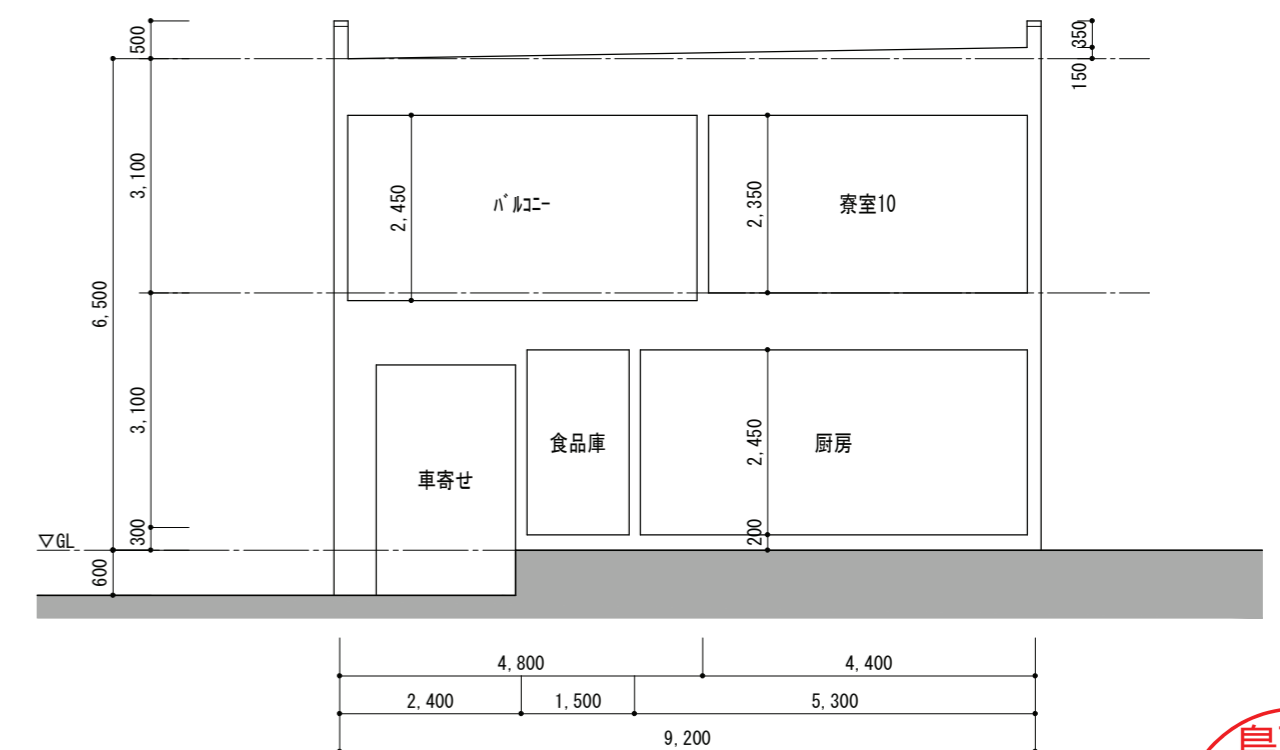
X1-X6通 Y1-Y2間 断面図 S=1/100



Y1-Y3間 X6-X7通 断面図 S=1/100



X1-X6通 Y2-Y3間 断面図 S=1/100

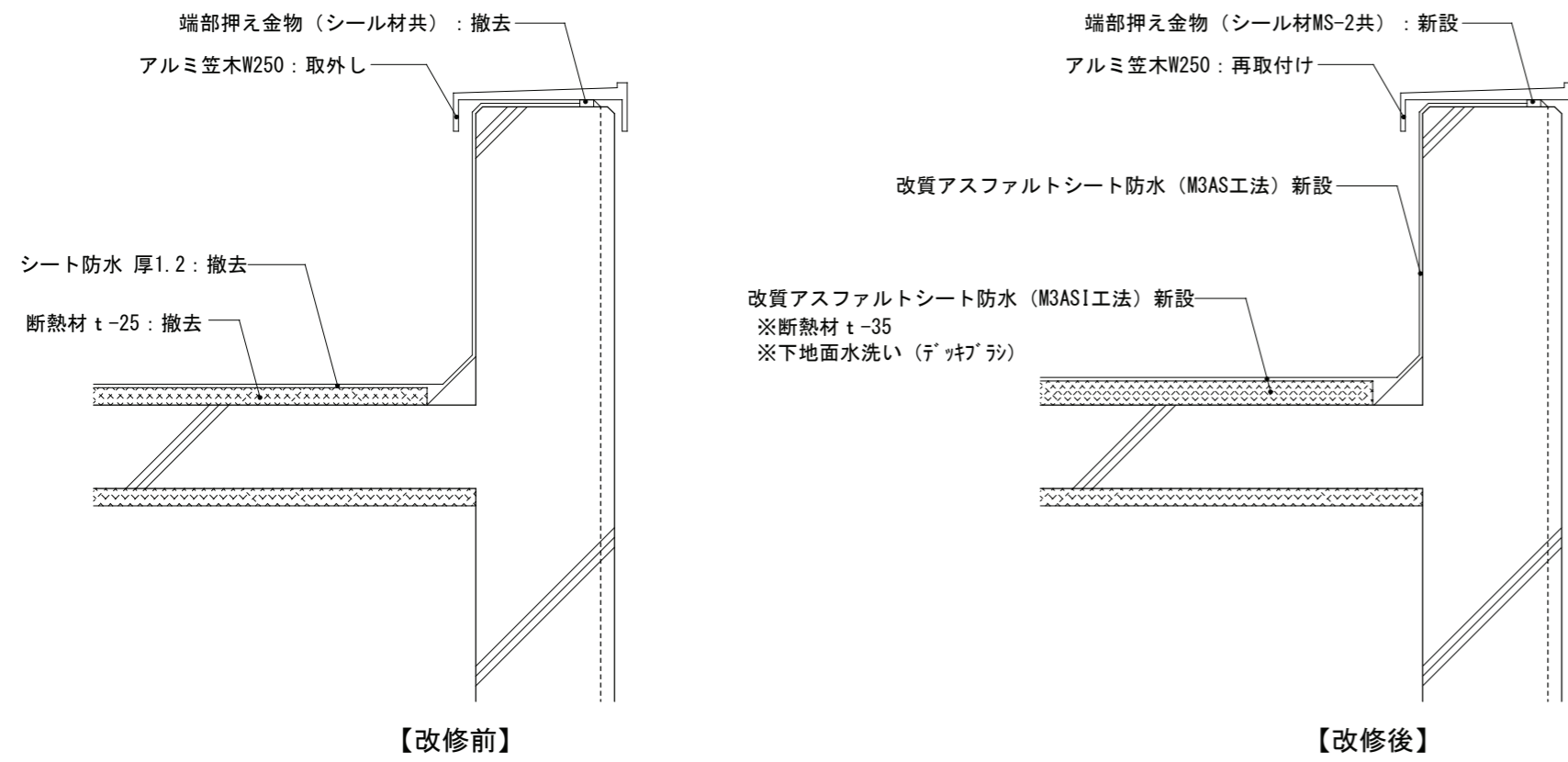


Y1-Y3間 X1-X2通 断面図 S=1/100

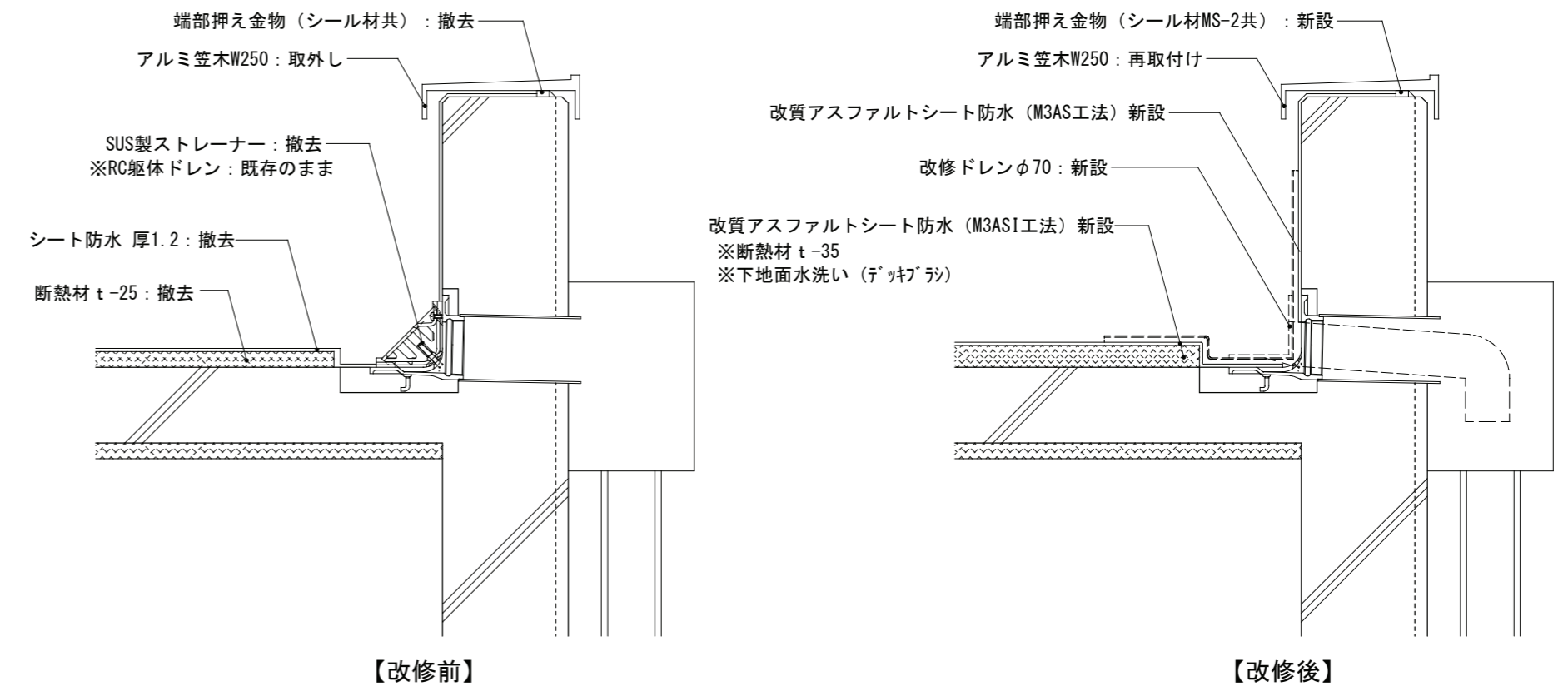


A-08	県立日野高等学校寄宿舎 2 屋上防水改修工事	山田 大生	A2 S=1:100
	断面図 (参考)		A3 縮小率70.7%
株式会社e-MOMENT		管理建築士 1級建築士登録第354253号	

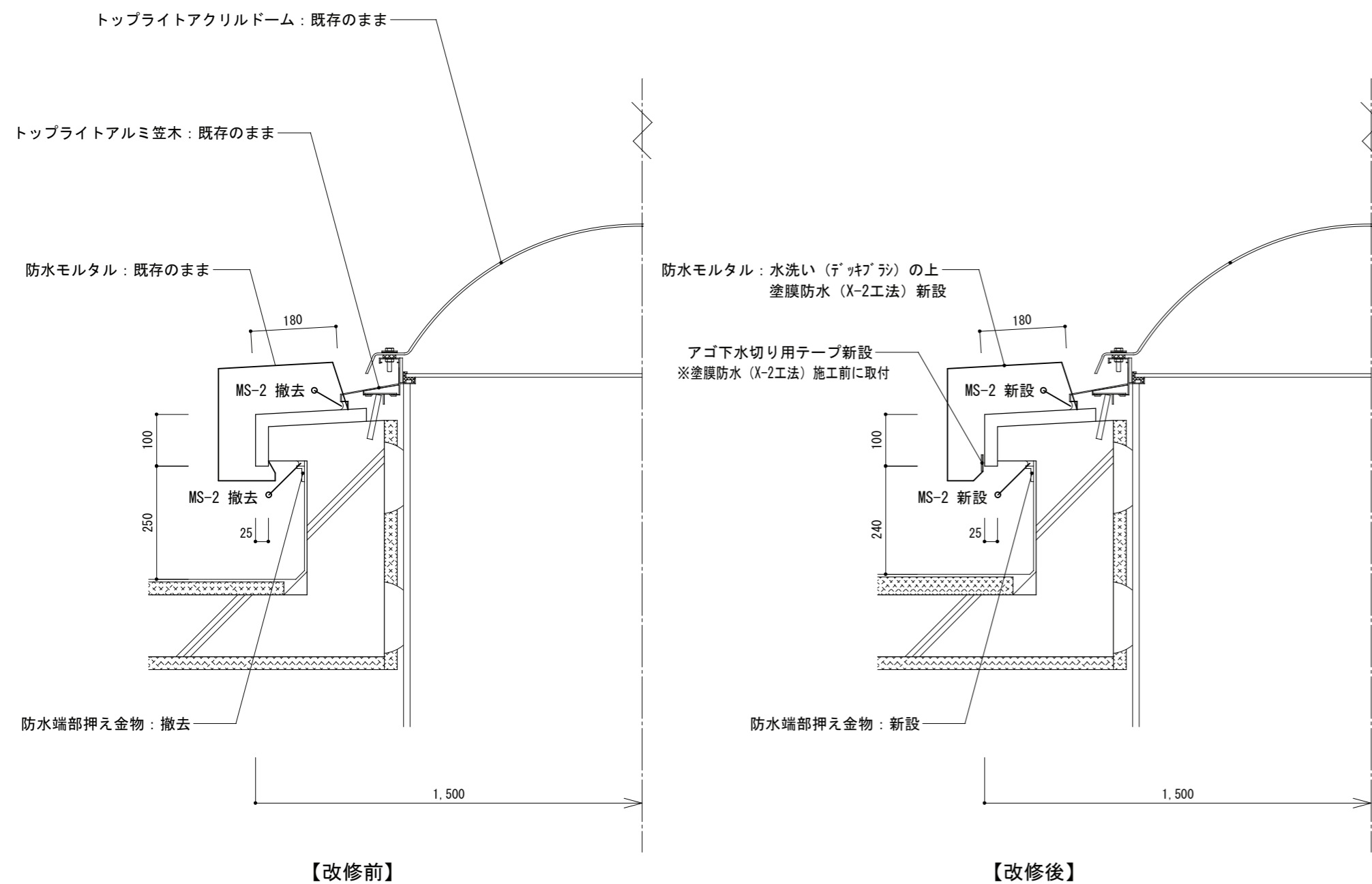
防水【改修前・改修後】 A 部分詳細図 S=1/10



横引ドレン【改修前・改修後】 部分詳細図 S=1/10



トプライトパラペット【改修前・改修後】 B 部分詳細図 S=1/10



寄宿舎1取合屋根【改修前・改修後】 C 部分詳細図 S=1/10

